

Adobe Campaign v8

Develop and Customize Data Models in Adobe Campaign v8

(Campaign v8 スキーマとフォーム開発コース)

- コース目的： Adobe Campaign v8での新規テーブル（スキーマ）の作成方法や、標準テーブルの拡張方法（カスタマイズ方法）、APIを使った連携についての知識を習得します。
- 受講対象者： Adobe Campaign v8のデータベーススキーマを調整する必要がある開発者や、アーキテクト
- 実施日数/時間： 2日間 / 10:00~17:00
- 前提条件： 「Adobe Campaign v8 ベーシックコース」を受講済みの方が、同等の知識のある方
- 注意事項： 演習操作をするマシンの制限事項がありますので、2ページ目の注意事項をご確認ください
- コース内容

章	内容	実習
1章	構造化ドキュメントの構築 構造化ドキュメントについて 構造化ドキュメントの作成	あり
2章	データモデルの作成 データスキーマについて スキーマの作成 プライマリーキーの設定 データベース更新 データモデルのリンク インデックスの追加	あり あり あり あり あり
3章	データモデルの拡張 データモデルを拡張／カスタマイズする方法について	あり
4章	フォームの管理とナビゲーション階層 フォームとコンテナーについて 単純なフォームと、複数ページのフォームの作成 ナビゲーション階層の作成について	あり あり

5章	キャンペーンデータのエクスポートとインポート Adobe Campaign v8でのデータ転送プロセスについて キャンペーンデータのエクスポートとインポート データのエクスポートおよびインポート機能について	あり あり あり
6章	高度なデータモデル機能の設定 列挙とシステムフィルターについて 検証を入力フォームに追加するやり方について	あり あり
7章	パッケージのデプロイ パッケージのデプロイについて	あり
8章	ターゲットマッピングの設定 ターゲットマッピングを設定する方法について	あり
9章	APIとCampaignプラットフォームの連携 Adobe Campaign v8の Application Programming Interface (API) について JavaScript の基本的なコーディングとテストについて Write()メソッドを実行するやり方について	あり あり あり
10章	Adobe Campaign に対する Webサービスの呼び出しについて カスタムメソッドの作成とAPIの拡張 API拡張を利用した受信者ステータスの変更について	あり あり

Adobe Campaign v8コースで利用するマシンについて

Adobe Campaign v8 を操作する場合、Adobe Campaign v8 Client Consoleというソフトウェアのインストールが必要となります。よってご利用いただくマシンには以下の制限がございます。

- Adobe Campaign v8 Client Consoleは**Windows環境にのみ**インストールが可能です。演習の操作をされるマシンはWindowsマシンもし、Macをご利用の場合には、Mac上でWindowsが起動できる状態にしておいてください。
- 操作するマシンでの、ソフトウェアの**インストール権限がある状態**でご参加ください。

上記条件を満たすマシンのご準備が難しい場合には、事前にご相談ください。